

寺 報

龍正寺

日なた 100号

自分自身の

考え方を換えれば

回りも変わる

楽しい毎日が送る

事が出来る

日 延



<平成28年 9月>

宝 龍 会
護 持 会

— 任 職 — 言 = 幸せ になって

寺報 日なた、100号を迎えました、8年々々月毎月
丹精こめて下さいました、方々に深く感謝いたし
お礼い申し上げます。また購読して下さいます方々に
深く感謝を申し上げます、日々の生活の中に役立って
ただければ嬉しく思います。

「自分自身の考え方を換えれば、回りも変わる
楽しい毎日が送る事が出来る」

私は法話したり、色々な人生相談を受けたりします。

その中で自分が変われば、相手も変わるとお話しをしま
すが、とても難しい事だと思えます。

自分の思う通りにならないと、相手のせいだと考えたり、
また物事にせいにしてたりします。

そこで自分自身が一つ考えてみて下さい、なぜこう
なるのか、どこに原因があるのか、どのように変えたらよ
いか。

過ぎた事をいっまでも思い考えていても色々な
問題の解決にはなりません。

心もいつまでも悶悶としてしまい、心穏やかな日々を送る事は出来ませぬ。

仏様は過ぎた事を問題にしても仕方がない、それより今後、未来へ向けて自分自身がどうあるべきかを考えて行く事が大切である、とお説になられています。お題目を唱える事によって、私たちの未来に仏様は慈悲の手を差し伸べようとしていらっしゃるのです。

私たちの回りには色々な事がおきますが、仏様、御先祖様を信じ、大切にされる心が一番かと思えます。

101号より、皆様の手紙にちなむ事を願って書きつづけ伝えて行きたいと思っております。

合掌

時報 100号 発刊 お目出度うございます。

お上人様より 印法前の掃除をさせて頂きまして約1年程に
なりました 冬の寒い時もあり大変でしたか ありがとうございます。

一つの希望を持って生きていく事が大切である事を良く分りました。

お題目を唱える時 写経する時 心の安らぎと元気を

もらいました 私の側にはお祖師様と一緒にです

皆様 お題目を唱えて 毎日を大切に明るく元気に

生活を 12月1日としたいと思います お上人様 お導きありがとうございます

南無妙法蓮華経

—— 経験を力に変えて ——

朝晩は少し過ぎしやぶくなりましてが、皆さん体調崩されてはいませんか？

夏休みは何かと忙しく、あっという間に過ぎてしまいました。子ども達もたくさんのお験をし、思い出に残る夏休みになったのかなあと反省している今日この頃です。

夏休み、長女は部活、長男はサッカースクールとスポーツ少年団に忙しく体を動かしていました。練習が休みの日は、近くの堤防で一緒に体を動かしましたが、私は、自分の体力の低下に驚き、子どもの体力の向上に、頼もしさを感じました。

長女は小学2年生から空手を始めました。入賞はするものの、3位入賞はなかなか実らず、6年生の約1年間は辞めようとお休みをもらっていた時期もありました。

たくさんの方からの助言や導き、先生のご指導のおかげで最後の1年で県大会準優勝、東海大会3位入賞をさせていたことができました。通常の練習以外にも練習をし、色々な練習、講習会に参加。一番は本人の努力の結果だと思っています。どんなスポーツもこなしてしまうような運動神経がバツグンな子ではありません。だからこそ、やればや、ただ、自分の力になる事を経験し、自分で理解できています。

それをずっと見てきた長男。長男は、どちらかと言うと体の使い方がうまく、何でもこなせてしまう運動神経をもっています。

時々、「自分には出来るから…」と軽い言葉を使う時があるので、私と娘で、その鼻をへし折っています(笑)

もっともっと上手な人はたくさんいるし、もっともっと努力している人もたくさんいる。出来て当たり前じゃないし、自分なんてまだ「まだなんだ」と。

好きだから出来るという事もあるのかもかもしれませんが、長男も昨夏さえあれば「ボールを触り、練習も頑張っています。

そんな二人を見ている次男。今はまだ「何も運動はしていませんが、うまく出来ないと、すぐに諦めてしまう所があります。

自転車の練習、ひらがなの練習も、気持ちが悪くないと始めないので、こちらもチャンスがつかないながらも少しづつという感じでは。

ある日の3人の会話…。次男が「ぼくは出来ないのでもういい!! やらなくていい!!」というふうな感じの事を言うと、兄が「諦めたらだめだよ!! 諦めたらそこで点取りだよ」と言い、姉が「そうやー! やれば出来るで、頑張ら!!」と声をかけてくれていました。3人の会話を聞いて、とても嬉しく、私は何も言う事はありませんでした。これから3人が助け合い、自分の経験を力に変えて、頑張っていてほしいです。私もそれを見守り、助言し導いていけたらいいなと思っています。子ども達に感謝です♡ ありがとう☺

南無妙法蓮華経

※お陰様で100号を迎えることができました。いつも読んでいただきありがとうございます。

「いのちのきづな」

～ “ひなた” 100号、おめでとうございます。長年“ひなた”に携わって来られた方々に感謝申し上げます。～

おめでたい 100号 ですので、私もこの夏のうれしかった出来事を書いてみます。

何年か前に 龍正寺に 進藤上人が来て下さって お話を
して下さった事がありました。進藤上人にお会いするのはその時が
初めてでした。

お寺で読ませていただいた「一球入魂」の著者のお上人なので
当日は冊子を持参して出かけました。そして勇気を出してサインを
お願いしてみました。

進藤上人は「いいよ～！」と気さくに応じて下さいました。
冊子に大きく書かれていたのは

「いのちのきづな たいせつに」 という言葉でした。感激!!
家の仏壇の横に飾って毎日 サインを目にしているうち
“どうして こう書いて下さったのだろう?” と考えていました。

その頃 私は 2人の子どもが 順番に受験生で、部活、
試験等で 盆も正月も休日も無い日々でした。自分の
予定は後回し。子どもの予定が最優先。

今はこういう時期だから仕方がない、と思いつつも大切な
事まで犠牲にしていたかもしれません。

子どもが小さい頃は 周りの人、特に両親には
たくさん助けられていたのに、その頃は 忙しいのを
いいわけに、会えない時間が増えていってしまいました。

自分の中には 罪悪感が いつも居座っている感じでした。

そのうち、親、兄弟 それぞれの事情 がからまりながら
色々な事が少しずつ変わっていきました。色々変わってしまった
所に自分の居場所はどこだろう。余計な事ばかり考えて
増々 かがわりを持つのが億劫になりました。
自分は親不孝だと思いました。

今春になって 受験生の親の立場からやっと解放されました。
今夏は何年かぶりに 家族で過ごす時間に恵まれました。

お盆には 久々 家族全員でお墓参りに行きました。

お寺のお参りにも 揃って出かけました。

みんなで実家を訪ねたのも久しぶり。みんな笑顔でした。
そして夫の両親や兄弟家族が大集合する事も突然
あつという間に決まり 長男宅で貝辰やかに過ごさせて
いただきました。

私がご無沙汰している間、きづな.. をつないでいてくれた
兄弟夫婦の皆さんに感謝の気持ちでした。

「みんなで食べるごはんは おいしいな、お母さん」
と満面の笑顔のお父さんの顔を見ると、こうして皆で
仲良くすることも親孝行の一つかな、と思いました。

夫の兄弟は6人です。皆、仲良く出来るのは、
育ててこられた父、母のお陰だと思います。

これからも 仲の良い関係が続くように 私も応援
して行きたいと思います。

「いのちのきづな」を考えながら
まずは 自分の家庭から、
周りの皆が笑顔で過ごす心地良い空間が
広がって行くようにしていきたいです。

寺報「日なた」100号を迎える事が出来ました。
八年と四ヵ月をかけてこの日を迎えられた事に、携わ
れた一人として喜びと幸せを感じています。

思い返せば、初めは寺院で掃除・法要の準備など
の手伝いをさせて頂いていた有志が集まり、御住職
からお経・御題目・法華経を教えて頂いていました。
「自分達だけが教えて頂いて幸せになるのはいけな
い。自分達が学び幸せになっていく出来事を、皆さ
んにも伝えられたら...」布教の一端になればと
の思いで、第一号を発刊しました。

その「日なた」継続は決して安易なものでは
ありませんでした。

それは山あり谷ありでした。何度も、「もう今回
で終了かな。」と思う時もありました。

有志の方々との別れがあったり、また新たな
有志の方々が参加して下さったり...

私自身もこの八年四月の間に家族も減ったり増えたりしながら、大きなファミリーになりました。

日々の生活の中で「日なた」のおかげで、私も前向きに成長する事が出来ました。

今は、この法華経・日蓮大聖人のお教えを家族へ伝えていく事が私の務めと思っています。

「日なた」は皆様の「日なた」です。

どなたでも参加出来ます。心に思う事、迷い・悩み・喜び・悲しみ・幸せ……。どのような事柄でも「OK」です。言葉にしてみませんか？

読者から、「私も同じ思いをしたよ。」「気持ちかわかる!」
「私も経験して乗り越えたから大丈夫。」など、共感の言葉を頂き、勇気・励みにもなります。

「日なた」を通じて、法華経・日蓮大聖人のお教えを学んだ事で、人生を幸せに生きる事が出来る。そして、その事を感じられる事に喜びを感じます。

どうぞ、皆様！参加してみませんか。

幸せの受信力が大きくなりますよ！！

一人でも多くの方に読んで頂きたいと思います。

これからも前進して行きたいと思います。

心豊かに、幸せになりましょう。

南無妙法蓮華経

「仏縁」

私の弟は、最近 お寺で手を合わせる事が
多くなりました。

というのも、自分が苦しい、イライラしている時に私の
メールが、タイミング良く来る事が多くなっていったそうです。
メールが来た時に立ち止まって考える事が多くなり、
これは我慢した方が良いか、何も言わない方が
良いかと冷静になれる事が増えてきたとのこと。

以前でしたら、イライラし、相手の事も考えず、相手の
せいにして怒っていた、自分がいたことも...

その中で、仏縁を感じずにはいられない事を、お寺
で教えてもらい、仏縁のある所に行く事が多くなりました。
最近では、いのりの日に伊勢神宮へお参
りに行く事になり、本人も感謝していました。

「あなたの姿を見せてもらったから、仏の縁をもらった
と思う。だからこそ頑張らんといかんよあと思う」と
言ってもらえました。

伊勢神宮に行く時には、運転中、追い越されて

イライラお事が起きたのですが、普段でしたらその車を追うことをお弟が、目的地に着いたので否がなしに、左折をおことにしたのです。

本人としては、ちよと拍子抜けな感じだったようです。「よく考えたら、仏様がここで止めて下さった。このまま行っていたらケンカにたっていたかもしれない」と気がついたのです。

普段でしたら、そんな事があると怒りがでる人が、仏縁をもつ事で、一歩立ち止り考えさせてもらえることを本人も少しづつ自覚し始めています。

最近でも、今日はお寺に行くのを止めておとうと決めた5分後に、仏からのメールが入るということもあり、本人は、これは「行きなさい」と仏様から言われたことだと理解し、手を合わせにお寺に行つたそうです。不思議と変化があるのが28日いのりの日なのです。

家族、兄弟が仏縁を通して変化していく姿を見せてもらえる程、うれしい事はなにと身に染みて感じています。

< 9月行事内容 >

9月13日(火) 10:00~ 宗祖日蓮大聖人報恩会
龍口法難会

18日(日) 10:00~ 鬼子母尊神) 祈禱会
七面大明神)
七面大明神大祭法要
役員会

終了後

22日(木) 13:00~ 秋季彼岸中日法要会

< 9月住職の予定 >

9月28日(水)~29日(木) 身延 七面山

< 9月の予定 >

9月6日(火)	各々の時間で"	清掃、準備
?	↓	↓
13日(火)	法要後	片付け、準備
14日(水)	各々の時間で"	清掃、準備
?	↓	↓
17日(土)		
19日(月)		
?		
21日(水)		